

《地下水採取量報告書記入要領及び記入例》

報告書の作成にあたっては、1つの水量測定器(メーター)につき1枚の報告書を作成してください。

ただし、複数の揚水機の稼働時間・電力量を1つの測定器で計測しており、下記の条件(※1または※2)を満たす場合、1枚の報告書に地下水の採取量をまとめて記入することができます。

※1 水量測定器が稼働時間計(アワーメーター)で、複数の揚水機が常に同時に稼働する

※2 水量測定器が電力量計で、複数の揚水機の定格出力(能力(kw))が全て同じ

○作成内容の詳細については、下記の記載例をご覧ください。

(ア) 地下水採取量報告書の記載方法・・・・・・・・・・・・・・・・P. 2

(イ) 別紙(地下水採取量報告書の裏面)の記載方法

・稼働時間計(アワーメーター)を利用している場合・・・・P. 3

・電力量計を利用している場合・・・・・・・・・・・・・・・・P. 4

(ア)地下水採取量報告書の記載例

第7号様式（第9条関係）

で囲んだ部分を記入してください

地下水採取量報告書

令和〇年〇月〇日

長岡市長 様

住 所 長岡市 〇〇町 〇 - 〇

氏 名 長 岡 太 郎

(法人等にあつては名称及び代表者の氏名)

届出揚水設備により採取した地下水の量について、長岡市地下水保全条例第11条第2項の規定により、次のとおり報告します。

揚水設備の設置場所	長岡市 〇〇町 〇 - 〇		
揚水機の現況及び地下水採取量	別紙のとおり		
管 理 責 任 者	氏 名	長 岡 次 郎	
	役 職 等	□□課長	
	連 絡 先	電話番号△△局△△△△番 ファックス番号〇〇局〇〇〇〇番	
※ 整 理 番 号		※ 受 付 年 月 日	年 月 日

備考 ※の欄は記入しないこと。

揚水設備管理責任者選任届出書または
揚水設備管理責任者変更届出書で選任された方の氏名
を記載してください。

(イ) 別紙(地下水採取量報告書の裏面)の記載例

1. 稼働時間計(アワーメーター)を利用している場合(記入例①②参照)

- ① あらかじめ、ポンプの制御盤等に設置したアワーメーターの使用前の値を把握する。→ ①
- ② アワーメーターの3月末の値を把握する。→ ②



アワーメーターの例

- ③ ②の値から①の値を引き、運転時間を求める。→ ③
- ④ 揚水ポンプの「1時間当たりの揚水能力」を仕様書等で確認する。→ ④
- 《確認した揚水能力等が「所有井戸リスト」の内容と異なる場合》
- 「所有井戸リスト」の「揚水能力 (m³/h)」を二重線で消し、余白に赤字で記入してください。
- 《「ポンプの吐出口径」または「吐出口断面積」は確認できたが「揚水能力」は確認できなかった場合》

下表の1時間当たりの揚水能力★を使用する。

ポンプの吐出口径 (mm)	吐出口断面積 (cm ²)	1時間当たりの揚水能力 (m ³) ★
26未満	~4.9	3.50
26~32	~8.0	4.25
33~40	~12.6	7.25
41~50	~19.6	12.75
51~65	~33.2	29.25
66~80	~50.2	43.50
81~100	~78.5	73.25
101~125	~122.7	121.50
126以上	~176.6	184.00

- ⑤ ③で求めた運転時間に、④の揚水能力をかけ、地下水採取量を求める。→ ⑤

○計算例

- ①利用前のアワーメーターの値=1,000時間
- ②3月末の " =1,100時間
- ③運転時間=100時間
- ④揚水ポンプの1時間当たりの揚水能力=73.25m³
- ⑤地下水採取量=100×73.25=7,325m³(小数点以下切り捨て)

2. 電力量計を利用している場合（記入例③④参照）

- ⑥ あらかじめ、ポンプの制御盤等に設置した電力量計の使用前の値を把握しておく。→ ⑥
- ⑦ 電力量計の3月末の値を把握する。→ ⑦
- ⑧ 揚水ポンプの「能力(kw) (定格出力(kw))」を仕様書等で確認する。→ ⑧
- ⑨ ⑦の値から⑥の値を引く。その後、⑧の定格出力の値で割り、揚水ポンプの運転時間を求める。→ ⑨
- ⑩ 揚水ポンプの「1時間当たりの揚水能力」を仕様書等で確認する。→ ⑩

《確認した揚水能力等が「所有井戸リスト」の内容と異なる場合》

「所有井戸リスト」の「揚水能力(m³/h)」を二重線で消し、余白に赤字で記入してください。

《「ポンプの吐出口径」または「吐出口断面積」は確認できたが「揚水能力」は確認できなかった場合》

下表の1時間当たりの揚水能力★を使用する。

ポンプの吐出口径 (mm)	吐出口断面積 (cm ²)	1時間当たりの揚水能力 (m ³) ★
26未満	～4.9	3.50
26～32	～8.0	4.25
33～40	～12.6	7.25
41～50	～19.6	12.75
51～65	～33.2	29.25
66～80	～50.2	43.50
81～100	～78.5	73.25
101～125	～122.7	121.50
126以上	～176.6	184.00



電力量計の例

- ⑪ ⑨で求めた運転時間に⑩の揚水能力をかけ、地下水採取量を求める。→ ⑪

○計算例

⑥利用前の電力量計の値 = 100kwh

⑦3月末の " = 1,100kwh

⑧揚水ポンプの定格出力 = 10kw

運転時間 ⇒ (1,100 - 100) ÷ 10 = 100時間

⑩揚水ポンプの1時間当たりの揚水能力 = 73.25m³

⑪地下水採取量 = 100 × 73.25 = 7,325m³ (小数点以下切り捨て)

別紙 記入例①

稼働時間計(アワーメーター)を利用している場合

別紙

1 揚水機の現況について

④ 1時間当たりの揚水能力の値を記入してください。
また、節水型検知器の設置状況等も記入ください。

揚 水 機			採取した地下水の量の測定に使用している水量測定器の種類	備 考
No.	吐出口断面積 (cm ²)	能 力 (kw)		
1	78.5	10	実測式水道メーター 羽根車式水道メーター ベンチュリ管分流式水道メーター 電磁式水道メーター 超音波式水道メーター 稼働時間計 電力量計 その他 ()	④ 73.25m ³ /h 節水型検知器設置済 メーカー名: 〇〇会社 型式: ABC-123
2				
3				
合計				

仕様書等で「吐出口断面積」及び「能力(定格出力)」を確認して記入してください。

2 水量測定器について(アワーメーター)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		メーターの値(h)	運 転 前									① 1000			
運 転 後													② 1100		
運 転 時 間 (h)			0	0	0	0	0	0	0	0				③ 100	

メーターの読みに記入した単位 : m³、時間、kwh、その他 ()

時間に〇を付けてください。

③ 運転後(②)から運転前(①)を引いた値を記入してください。
(例: ②1,100 - ①1,000 = ③100)

3 地下水採取量

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		使用量 m ³	消 雪 用		0	0	0	0	0	0	0	0			
工 業 用															7,325
そ の 他 ()															
合 計			0	0	0	0	0	0	0	0					⑤ 7,325

⑤ 運転時間③に揚水能力④を掛けた値を記入してください。
(例: ③100(時間) × ④73.25(m³/h) = ⑤7,325(m³))

別紙 記入例②

同じ稼働時間計で複数の揚水機が同時に稼働する場合

別紙

④ 1時間当たりの揚水能力の値を記入してください。
また、節水型検知器の設置状況等も記入ください。

1 揚水機の現況

揚 水 機			採取した地下水の量の測定に使用している水量測定器の種類	備 考
No.	吐出口断面積 (cm ²)	能 力 (kw)		
1	78.5	10	実測式水道メーター	No.1 73.25m ³ /h 節水型検知器設置済 メーカー名:〇〇会社 型式:ABC-123
2	122.7	20	羽根車式水道メーター ベンチュリ管分流式水道メーター	
3	仕様書等で「吐出口断面積」及び「能力(定格出力)」を確認して記入してください。		電磁式水道メーター 超音波式水道メーター	
合計			稼働時間計 電力量計 その他 ()	No.2 121.5m ³ /h 節水型検知器未設置

2 水量測定器について(アワーメーター)

区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
メーターの値(h)	運 転 前								①	1000					
	運 転 後											②	1100		
運 転 時 間 (h)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	③	100	
メーターの読みに記入した単位 : m ³ 、時間、kwh、その他 ()															

時間に○を付けてください。

③ 運転後(②)から運転前(①)を引いた値を記入してください。
(例: ②1,100 - ①1,000 = ③100)

3 地下水採取量

区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
使用量 m ³	消 雪 用 水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,475
	工 業 用 水														19,475
	そ の 他 ()														
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	⑤	19,475

⑤ 運転時間③に揚水能力④を掛けた値を記入してください。
(例: ③100(時間) × ④(73.25+121.5) (m³/h) = ⑤19,475 (m³))

別紙 記入例③

電力量計を利用している場合

別紙

⑩ 1時間当たりの揚水能力の値を記入してください。
また、節水型検知器の設置状況等も記入ください。

1 揚水機の現況

揚 水 機			採取した地下水の量の測定に使用している水量測定器の種類	備 考
No.	吐出口断面積 (cm ²)	能 力 (kw)		
1	78.5	⑧ 10	実測式水道メーター 羽根車式水道メーター ベンチュリ管分流式水道メーター 電磁式水道メーター 超音波式水道メーター 稼働時間計 電力量計 その他 ()	73.25m ³ /h 節水型検知器設置済 メーカー名:〇〇会社 型式:ABC-123
2				
3				
合計				

仕様書等で「吐出口断面積」及び「能力(定格出力)」を確認して記入してください。

2 水量測定器について(電力量計)

区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
メーターの値 (kwh)	運転前								⑥ 100						
	運転後											⑦ 1100			
運 転 時 間 (h)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		⑨ 100		
メーターの読みに記入した単位 : m ³ 、時間 kwh、その他 ()															

kwh に○を付けてください。

⑨ 運転後(⑦)から運転前(⑥)を引いた値を能力(定格出力)(⑧)の値で割った値を記入してください。
(例: (⑦1,100 - ⑥100) ÷ ⑧10 = ⑨100)

3 地下水採取量

区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
使用量 m ³	消雪用水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,325
	工業用水														
	その他 ()														
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			⑪ 7,325	

⑪ 運転時間⑨に揚水能力⑩を掛けた値を記入してください。
(例: ⑨100(時間) × ⑩73.25(m³/h) = ⑪7,325(m³))

別紙 記入例④

同じ電力量計で複数の揚水機が同時に稼働する場合

※定格出力(能力)が同じ値の場合のみ、1枚の報告書で提出可能です。

別紙

⑩ 1時間当たりの揚水能力の値を記入してください。
また、節水型検知器の設置状況等も記入ください。

1 揚水機の現況

揚 水 機			採取した地下水の量の測定に使用している水量測定器の種類	備 考
No.	吐出口断面積 (cm ²)	能 力 (kw)		
1	78.5	⑧ 10	実測式水道メーター 羽根車式水道メーター ベンチュリ管分流式水道メーター 電磁式水道メーター 超音波式水道メーター 稼働時間計 電力量計 その他 ()	No.1 73.25m ³ /h 節水型検知器設置済 メーカー名:00会社 型式:ABC-123 No.2 73.25m ³ /h 節水型検知器未設置
2	78.5	10		
3	仕様書等で「吐出口断面積」及び「能力(定格出力)」を確認して記入してください。			
合計				

2 水量測定器について(電力量計)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
メーターの値 (kwh)	運転前									⑥ 100					
	運転後												⑦ 1100		
運 転 時 間 (h)			0	0	0	0	0	0	0	0				⑨ 50	
メーターの読みに記入した単位 : m ³ 、時間 kwh、その他 ()															

kwh に○を付けてください。

⑨ 運転後(⑦)から運転前(⑥)を引いた値を、能力(定格出力)(⑧)の値の合計で割った値を記入してください。
(例: (⑦1,100 - ⑥100) ÷ ⑧(10+10) = ⑨50)

3 地下水採取量

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用量 m ³	消雪用水		0	0	0	0	0	0	0	0	7,325			7,325	
	工業用水										7,325				
	その他 ()														
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0			⑪ 7,325	7,325

⑪ 運転時間⑨に揚水能力⑩と台数を掛けた値を記入してください。
(例: ⑨50(時間) × ⑩73.25(m³/h) × 2(台) = ⑪7,325(m³))